



カテゴリ: サステナビリティ

2024年2月28日
第23113号

家庭から出た廃食油を回収し、SAF原料として活用する取り組みを開始

～横浜市と連携協定を締結し、家庭からの廃食油を回収するしくみを構築します～

JALは、国内資源循環による脱炭素社会の実現に向けたプロジェクト「FRY to FLY Project」に参画(*1)し、廃食油を原料としたSAF(持続可能な航空燃料)製造に関する取り組みを推進しています。

このたび、プロジェクト参加メンバーである横浜市と、SAF原料としての活用に向けた家庭からの廃食油回収のしくみの構築、および社会実装の推進に関する連携協定を締結し、2024年3月より、横浜市内の家庭で発生する廃食油を回収するための取り組みを、ダイエーが運営するイオンフードスタイル鴨居店において開始します。

(*1)2023年4月17日付プレスリリース 第23006号『国内資源循環による脱炭素社会実現に向けたプロジェクト「FRY to FLY Project」に参画』 <https://press.jal.co.jp/ja/release/202304/007357.html>

【連携事項】

1. 廃食油の SAF 化等の一連の仕組みの構築および社会実装に関すること
2. 廃食油の SAF 化等についての市民への広報・啓発に関すること

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

【回収・リサイクルの流れ】

1. 各家庭専用の回収ボトルで集めた廃食油を、店舗に設置された回収ボックスに注ぎ入れる。空になったボトルは自宅に持ち帰って再利用する。
2. 回収ボックスに一定量溜まった段階で、廃食油回収事業者が回収し、SAF などの製造工場に搬入する。
3. 製造された SAF は、航空会社により CO2 排出量抑制のために使用される。(*2)

(*2)実際に回収された廃食油がSAFとして利用されるのは2025年以降の計画であるため、それまでの間はバイオディーゼルなどの原料として利用されます。



再利用可能な各家庭専用の回収ボトルと
店舗用回収ボックス(イメージ)



廃食油の回収(イメージ)

JALグループは、「全燃料搭載量のうち、2025年度に1%、2030年度に10%をSAFに置き換える」という目標の達成に向けて、国内外でSAFの調達を進めるとともに、国内では業界の垣根を越えてステークホルダーの皆さまと協働しながら国産SAFの製造・商用化を後押ししています。また、大阪府堺市では、2025年の国産SAF商用化を目指して日本初のSAF製造工場の建設が進んでおり、本工場やこれに続く工場においては、当面廃食油が主なSAF原料となる見込みですが、各家庭で発生する廃食油はその多くが未活用のまま燃やすごみなどで廃棄されているのが現状です。

JALは、これらの未活用資源を家庭から回収するしくみの普及を目指し、本取り組みを横浜市内全域から全国の他の地域へと展開してまいります。



【廃食油回収スケジュール】

本取り組みの第1弾としてイオンフードスタイル鴨居店で回収のしくみ構築を開始し、同時にSAFの認知拡大を目的に「FRY to FLY」のイベントを開催します。これらの詳細については、今後、JAL、横浜市、ダイエーのSNSなどでお知らせしていきます。

場所:イオンフードスタイル鴨居店(神奈川県横浜市緑区鴨居1-6-1) JR横浜線 鴨居駅南口 徒歩3分

日程	内容	FRY to FLYイベント (店舗前広場にて開催)
3/16(土)、17(日)	回収トライアル1回目	両日
4/20(土)、21(日)	回収トライアル2回目	両日
5/13(月)~19(日)	回収トライアル3回目 (本運用試験期間)	5/18(土)、19(日)
6/5(水)~	本格回収開始	—



イベントのイメージ



「FRY to FLY Project」のシンボル

以上